



社団法人
長崎青年協会憲章

我々は会員の回結し
相互扶助の精神の基に
自己の建設し
会員の親睦を図り
もって地域社会の発展に
寄与する事を目的とする

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

社団法人長崎青年協会



■本年度スローガン

ハートが ちからに
行動が ちからに

NYA press no.167
May 1993

5

発行/長崎市魚の町7-7
(社)長崎青年協会
会長 森 保
編集 広報委員会
広報委員長 伊藤克樹

創立25周年

新年度のご挨拶

長崎市長 本 島 等



(社)長崎青年協会創立25周年を、心からお祝い申し上げます。

昭和44年、数名の有志の方で創立された青年協会が25歳を迎えられた今、会員103名のローカル性豊かな行動力ある青年団体となり、力強く活動されていますことに大変うれしく思います。

貴協会は、文化財の清掃、留学生との交流、福祉施設でのもちつき大会、長崎の活性化に向けた21世紀街づくりトップフォーラムの開催など、幅広い分野で活動を展開されており、その情熱と新鮮な感覚に敬意を表すものであります。

私は長崎を「歌声、笑声、そしてユーモアにあふれるまち」にしたいと思っています。ご存じのように長崎は「坂のまち」、「みなとのまち」です。斜面に立ち並ぶ住宅をどのように魅力ある居住空間にしていくか、長崎再生のために「みなと」をどう活かしていくか、みなさまと一緒に論議して民間と行政が常に「パートナーシップ」(協働作業)に基づくまちづくりを進めていきましょう。

このまちづくりにおける「パートナーシップ」こそ文化や伝統、そして平和の尊さなどを次の世代へ伝えていく最大の方策だと思います。今までの25年、そしてこれからの長い積み重ねの時間をみなさまとともに歩くことをお約束してお祝いの言葉といたします。

平成5年度定時総会開催

4月21日(水) 於 ホテルニュー長崎

平成5年度定時総会が4月21日、ホテルニュー長崎に於いて行われました。総会成立宣言、森会長挨拶の後、議長、議事録作成人及び署名人がそれぞれ選任され審議に入りました。

まず、第一号議案である平成4年度事業報告について、各前年度副会長(金田芳裕君・森保博君・桑田啓伍君)より、また、収支決算について前年度事務局長(渡辺孝孝君)並びに監事(岡崎武彦OB・岩崎直哉OB)より報告があり、それぞれ承認されました。

つづいて、第二号議案である平成5年度事業計画及び予算案について事務局長(金田芳裕君)より収支予算書の報告がありひきつづき各委員長より事業計画(基本的活動方針)並びに予算案について説明があり同じく承認されました。



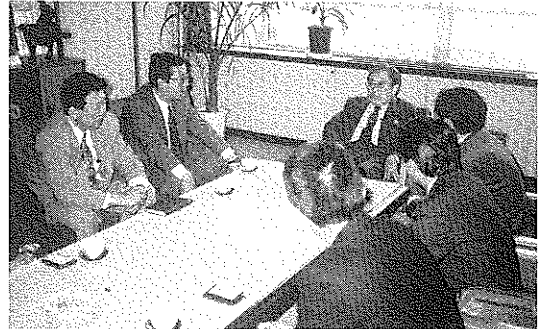
総会成立宣言	会員総数	103名
	出席者	66名
	委任状	24名
	総数	90名 総会成立

議長	長	嵩下恭一君
議事録作成人		岩満克弥君
議事録署名人		猿渡卓君
		船越浩信君

表敬訪問

4月15日(木)・4月16日(金)

森会長をはじめ役員が、4月15日(木)長崎市役所にて本島等長崎市長を、4月16日(金)長崎県庁にて、高田勇長崎県知事を表敬訪問しました。



外海町出津文化村視察

4月29日(木)

4月29日(木)地域社会委員会の主催により、外海町出津文化村を視察しました。前日から雨が降り続き心配されましたが、大人20人、子供13人が集まり、集合場所の江戸町公園を出発、約1時間で外海町立歴史民俗資料館に到着しました。農作業の道具や池島炭坑の展示品、キリシタン資料や考古資料が並び、さらにフランスとの交流を学んだ後、ド・ロ神父記念館に移動し、今回の特別企画“神父ゆかりのオルガン演奏”に出会いました。百年経ってもやさしく美しく奏



でるオルガンに合わせて一行が合唱し、歌声は館内に響き渡りました。橋口院長から、ド・ロ神父の特別注文によるオルガンの驚くべき機能の説明や、壊れた時の苦勞話を聞いた後、オルガンの足踏みの保護カバーを寄贈するために寸法を計り、そのほか色々なプランを大塚委員長が説明し、了解を得る事ができました。「今後さらに交流を重ね、皆さんをビックリさせる企画となる第一ステップです。」と語る委員長。これからどのように発展するのか、皆さんのご支援をよろしくお願い致します。

甦った眼鏡橋

中島川清掃・記念式典 4月25日(日)

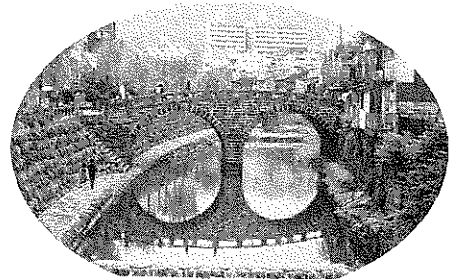
水面にくっきり映った眼鏡橋が甦りました。これは、観光客が「眼鏡に見えないね!」と会話していたのを耳にした住民の意見を、「であいの会」が提言し、ネットワーク市民の会トップフォーラムにて中島川の改善を訴え、改修工事が実現したものです。改修工事は橋の上流と下流に、コンクリートの堰(せき)を設け、さらに土石を除去し掘り下げられました。



この眼鏡橋の復活を記念して「であいの会」で

は、ネットワーク市民の会後援により、4月25日、中島川清掃と記念式典を行いました。青年協会のメンバーも清掃活動に参加し、美しい中島川のほとりにて記念式典が行われました。式典では、海洋少年団によるカヌー実演や約百匹の鯉が放流され、森会長も鯉の放流を行いました。

甦った眼鏡橋は、美しい景観を取り戻し観光客に喜ばれるとともに、住民が水と触れ合う憩いの場となることでしょう。



委員会訪問 活動状況報告

会員交流委員会 *Committee For Inter-Member Exchanges*

会員交流委員会では、新人研修として参加した新入会員とともに、5月16日(日)に予定されている25周年大運動会について、白熱した論議が行われていました。岡田委員長は、青年協会の憲章を大切に基本にもどった運営を目指し、会員へ強制はしないが積極的に参加してほしいとのことです。委員会は全員参加をモットーに、25周年大運動会、例会後の懇親会、ソフトボール大会、忘年会と、数多い事業を分担してやっていくそうです。



国際委員会 *International Affairs Committee*



国際委員会では、(財)長崎平和推進協会、長崎市文化国際課などを交えて、実行委員会として活動を行っています。第7回を迎える「留学生と市民のつどい」の今年のテーマは、一夢一。

留学生と市民のみなさんが、夢について語り合いながら、心と心のふれ合いを通して交流を深め、お互いに理解し合えるように、現在内容を検討しているそうです。委員会のメンバーが一丸となりすばらしいつどいが実現することでしょう。

青年協会OB会入会式

4月9日(金)、料亭「富貴楼」に於いて長崎青年協会OB会入会式が行われました。今回新しいOBとして出席した船越正治さん、松尾秀二さん、田川孝之さん、田代博昭さんの4名は、三浦勝太OB会長の挨拶、浅田五郎先輩による乾杯の後、恒例の「大盃の儀式」を受けました。大盃の儀式とは、約3合強は入ると思われる入会盃に、並々とつがれたお酒を一気に飲み干す儀式ですが、皆さん無事に終了することができました。



大盃を飲み干す
松尾秀二さん



4月定時総会出席率

委員会名	役員	総務	例会	広報	研修	会員開発	会員交流
出席率	100%	57.1%	87.5%	66.6%	75.0%	42.8%	50%
委員会名	特別事業	青少年育成	国際	企画	地域社会	地域事業	全体
出席率	37.5%	57.1%	42.8%	71.4%	85.7%	37.5%	64.7%

ふうせんバレーボールふれあひINながさき

講演会：9月10日(金) 大会：9月11日(土)

地域事業委員長 櫻井俊郎

“ふうせんバレーボール”・・・地域事業委員会では今年度、社会福祉事業の一環として障害者と健常者が互いに協力し合い、そしてふれあいを求めて行われるスポーツに取り組んでいます。障害者の方たちに対しての事業は初めてで最初は戸惑いもありましたが、次第に打ち解けあい、熱くなるものを感じています。



ドリームハートチーム (もりまちハートセンター)

全体事業ということで会員各位の全員参加はもちろんのこと、5月よりひと月に1回内部研修として、全体による練習を行います。4ヵ月ありますので必ず1回は参加してください。

体験してください。お話をしてみてください。明るく、楽しく、前向きに過ごしている姿に感動することだと思います。

研修日：5月24日(月) PM1:00～PM4:00
場所：もりまちハートセンター 3階体育館
※30分でも1時間でも時間のとれる方はご参加下さい。

◆ 人 介 ◆



鶴柴 英俊君
生年月日 昭和41年1月29日生
歳・血液型 27才 O型
勤務先 鶴柴石材彫刻
趣味 ドライブ・カラオケ
好きな言葉 あきらめない



下田 千里君
生年月日 昭和38年2月9日生
歳・血液型 30才 ??型
勤務先 アリコジャパン
趣味 イベントプランニング
好きな言葉 起承転結



徳富 真也君
生年月日 昭和45年10月18日生
歳・血液型 22才 AB型
勤務先 徳富電気商会
趣味 スポーツ
好きな言葉 努力

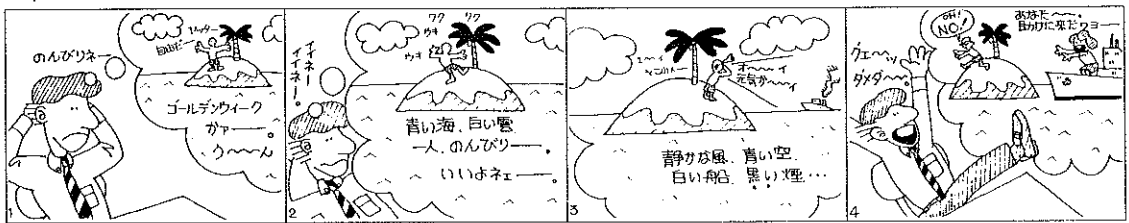


峰 章二君
生年月日 昭和42年1月9日生
歳・血液型 26才 A型
勤務先 (有)峰商店
趣味 ゴルフ
好きな言葉 一生感動



河間幸弘君 第1子 長女 莉乃子ちゃん誕生！
岡田康信君 第4子 待望の長女 瑞季ちゃん誕生！ おめでとう！

✕ はつてん君 「逃れられない白唇猿」



☆ NYA information ☆

Committee For Regular Meetings

例会委員会

☆手帳訂正のお知らせ☆

NYA手帳、11月の臨時総会日が、「24日(水)」となっておりますが、「22日(月)」の誤りです。早急にお手持ちの手帳の訂正をお願いするとともに、深くお詫びいたします。

Planning Committee

企画委員会

●ネットワーク市民の会だより●

長崎ネットワーク市民の会は、性格、目的の異なる各種団体が「我々の街、長崎をより良くする」という共通理念のもとで活動して来ました。

今年で3年目を迎え、さらなる情報交換からもう一步掘り下げ、会全体で1つのテーマを討議していく予定です。今年には長崎のシンボルの公園稲佐山を考えています。「市民と行政が一体となった街づくり」を目指して、明日の長崎をみつめるネットワークです。

Committee for the Youth Education

青少年育成委員会

大好き長崎なるほどセミナーでは、会員の皆様から班長を募集しています。ファイトあるあなたをお待ちしています。

Special Projects Committee

特別事業委員会

本年度の厄入り者8名の、厄入り及び厄入り懇親会を行いますので、皆様の御出席をよろしくお願い致します。

Tennis

テニス同好会

4月23日(金)今年度1回目のテニス同好会が行われました。初心者の方も大歓迎ですので、次回からは是非御参加下さい。



新刊紹介

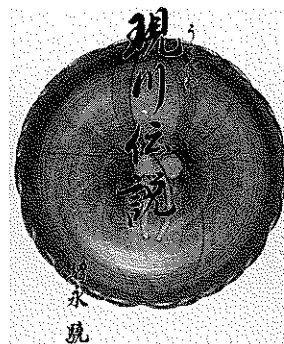
現川伝説

増永 ^{たかし} 曉 著

長崎の奥座敷、現川を舞台にした時代小説がこのたび発刊された。TV・新聞等で既報されご存知の方も多いかと思いますが、表紙の現川分校のある辺りが伝説によると、朝鮮人陶工と侍が村の小町娘「小藤」をめぐる切り合いをしたところ。気がふれた侍は次々に13人の陶工を殺害してしまい現川焼は断絶したという。この小説は勿論フィクションですから、直接地元の伝説や歴史とかかわりはありませんが、うつつかわという音の響きとこのような伝説を重ね合わせた時にロマンチックな想いにかられる人も多いようです。

著者は長崎市在住で長崎県生活福祉部生活課勤務の増永曉氏。

長崎文献社刊 定価 1,600円



☆矢上小学校現川分校 1992都市景観賞 (表紙説明) ☆

■1992都市景観賞選定理由

こんもりとした山の緑を背景にしたこの分校。校舎は、鉄筋コンクリート造ながら、丸太をあしらったログハウス風にデザインされていて、周辺の景観に違和感なく溶け込み、訪れる人をほっとさせる。校舎の内部空間も素晴らしく、分校で学ぶ子供たちの心に忘れられない記憶として残るであろう。

■矢上小学校現川分校

所在地/長崎市現川町1912番地
用途/小学校 階数/地上1階
構造/鉄筋コンクリート造
延面積/372.30㎡
高さ/7.150m

写真提供/長崎市都市景観賞表彰実行委員会